

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問

9月定例会では24・25・26日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
池上 智 康



一般質問

梶原 秀 明 議員（日本共産党）

来年開設の保育園の 安定運営を求める

【議員】 昨年4月に「くまのこ」内に民間保育園が開設したが、待機児童は昨年12月現在113人、1年で39人増えた。市立保育園建設がきわめて困難ななか、来年4月開園予定の株式会社社の認可保育園の質について、職員体制、財政支援、市のチェックはどうか。

健康福祉部長 現在園側と詳細に協議している。当該法人は、全国で8園の認可保育園などを適正に運営している実績がある。開設後も運営状況など、注意深く見守りたい。保育士は20歳代から40歳代までバランスよく配置されると聞いている。財政支援は、公立と同じ運営ができるよう、昨年開設の保育園と同様に補助金等を出す。補助事業については園から報告を受けることで運営状況をチェックする。

市長 認可基準は相当厳しく、一定の保育の保障は果たされる。園児の募集は市が行い、保育料も公立と同じであること等を知らない市民もある。



新保育園の建設予定地（錦町1丁目）

精神障がい者のバス運賃などの交通費補助を

【議員】 国土交通省がバス事業者標準運送約款を改正し、運賃割引対象に精神障がい者も加えた。バス事業者に割引を求めてほしい。他障がいと同様、タクシー券等助成も実現に向けて検討してほしい。

健康福祉部長 国際興業など県内大手3社は割引を協議していると聞く。県を通じ割引



かじわら ひであき

を働きかけたい。タクシー券等は、障がい者の特性とニーズ、地域実情等をふまえ、さらに検討したい。

北町公民館の カラオケ改善を

【議員】 北町公民館のカラオケは市民に好評だが、昨年来故障しがちで、改善を求める声が大変強い。取り換えはできないか。

教育部長 平成10年に寄贈されたもので、平成元年製で最近では修繕の部品調達も困難利用者には現状を理解していただいて使っていた。最新の通信カラオケは購入費10万円、通信費月額1万円と高額。（設備を管理している）北町コミュニティ委員会でも課題となっている。教育委員会としては、どの程度まで設備を用意すべきか、関係者の意見などをふまえて考えたい。

【ほかに】 「ハト・猫のフン害」について質問。

「老朽空き家に関する条例」制定について



老朽空き家対策の充実を（写真は空き家のイメージです）

への被害を未然に防止することを目的として取り組んできたところである。

議員 行政代執行の実効性は確保されるのか。また、代執行までの期間措置は、どのように手当てされるのか。

都市整備部長 行政代執行については、「助言・指導」から「命令」までの手続きを行った上で、建築物が倒壊した際の影響範囲、第三者へ危険を及ぼす恐れ、震災時の危険など老朽空き家の状況を勘案し、「公益上必要である」ことを慎重に判断し、しかるべき時期に適切に実行していきたいと考えている。

議員 平成23年12月定例会において「空き家、廃屋等の対策」について一般質問を行い、条例化と解体費用の助成等を提案したが、今回の条例案制定の目的と経過についてはどのように行われたのか。

都市整備部長 他市町村の条例などの情報収集、本市における課題などの整理を行い検討した。その結果、防災上の問題解決が最も重要であると判断し、「老朽化した空き家等の安全な管理を図ることに



たかはし えつろう

入の自己負担を軽減するため助成することはできないか。

総合型地域スポーツクラブについて

議員 地域を軸とした総合型地域スポーツクラブの効果と役割を認識し、あわせて市民参加のスポーツ都市宣言を行い、スポーツ振興策として取り組むことはできないか。

教育部長 総合型地域スポーツクラブの育成は世代間の交流、高齢社会への対応、地域住民の健康・体力の保持増進、地域の教育力の回復、学校と地域の連携等、新たな地域社会の形成に寄与することが期待される。しかし、狭隘な本市においては活動の場としての新たなスポーツ施設等の確保は難しく、疎にふさわしい市民参加の「スポーツ都市宣言」について調査研究したい。

難聴児への補聴器購入助成について

議員 県は今年度より、軽度・中等度難聴児の補聴器購入助成事業を行っているが、本市においても、高額な補聴器購

公共施設の再整備再配置のため旧日車社宅跡地は取得すべきだ！



公共施設の再整備再配置を見据えて、日車社宅跡地の取得を

議員 平成19年2月に策定された「公共施設再整備・再配置の方針」には、施設の老朽化や市民ニーズの変化に対応した再整備・再配置の必要性が指摘されているが、その進捗状況についてはどうか。

理事 現在ある公共施設は、安全性等を確保できるよう維持管理に努め、施設の長寿命化を図りつつも公平性や必要性などの観点から再評価を行い、施設全体の総量の削減を

目指す方針が示されている。小学校の進捗状況については「学校の適正規模と適正配置に関する基本方針」に示されている統廃合等の対策に必要な学級数の適正規模への対応状況に至っておらず、現在は耐震化対策等を進めながら児童数等を注視している。保育園については、新耐震基準以前に建てられた3園の耐震診断を行っている。また、市庁舎については、人命を守ることを主目的に、昨年度軸耐力補強工事を実施した。

議員 老朽化した公共施設の再整備・再配置の種地として旧日車社宅跡地の早期取得を英断すべき時期ではないか。

市長 将来の財政運営を考え、たときに、土地開発公社の健全化も含めた目途が立たないうちに、新たな土地の購入という判断は容易にはできない。

債権管理条例について

議員 平成23年度決算ベース



いちのせき かずいち

における市税の滞納債権と不納欠損の状況はどうか。

理事 滞納債権は現年度分2億7千318万7千953円、滞納繰越分7億8千790万7千592円。不納欠損額は滞納繰越分で6千539万9千160円である。

議員 債権管理条例制定の見通しについてはどうか。

理事 条例の形式にはとらわれず実効性を考慮し、債権管理マニュアルの事務処理の基準やその法的根拠に基づき、円滑に事務を執行できるよう引き続き対応に努めたい。

北町2丁目地区への防災倉庫の整備について

議員 同地区の防災倉庫の整備が求められているがどうか。

市民生活部長 公共施設等への設置も含め、相談がある場合には応じていきたい。

議員 北小への設置は可能か。
教育長 防災倉庫を北小に設置したいという相談があれば、教育委員会としては学校を含めた三者で協議したい。

あつたか市政を問う

要援護者対策など 大規模災害への対応



8月に行われた防災演習（要援護者避難訓練）

は図れない。市民の意見を参

考に、より実践的に計画・対

応できるように組みたい。

「自助」「共助」が市民

まかせとならないよう要望す

る。ところで、様々な災害が

同時多発する大規模災害に対

応できるよう職員や住民によ

る図上訓練を行う考えは。

市民生活部長 「職員初動マ

ニュアル」完成後に職員向け

の図上訓練を行いたい。また、

県の自主防災リーダー研修に

地域から5人の方が参加し、

図上訓練も実施されている。

ではない。課題はどうか。

健康福祉部長 障害の種類や

状態が様々であり、対象とな

る人数の把握はしていない。

今後把握する。人によって困

難な点や課題は様々であり、

個別の支援計画にどう反映さ

せるかが課題となる。

議員 家庭などでも災害の種

類や規模に応じた対応や避難

先などを検討できるシートの

作成・配布はできないか。

市民生活部長 検討したい。

留守家庭児童指導室

の運営



すずき さとし

一般質問

いじめは犯罪。 全市的な対応を

議員 いわゆる「いじめ」は

犯罪であると認識するが、教

育委員会及び本市の認識につ

いてはどのようか。

教育長 「いじめ」は人権を

侵害する行為であり、人とし

て決して許されるものではない

いと認識しており、認知され

た場合は完全解消を目指して

取り組むべき生徒指導上最も

重要な課題の1つである。

市長 いじめ問題は人権を侵

害する許されない行為であり、

子どもの命にもかかわる大変

大きな問題だと思っている。

における警察や近隣市との連

携及び情報交換等を定期的に

実施している。また、児童相

談所や保健所、市の別の部署

との横断的な協議も行ってい

る。さらに、各学校ではPT

Aや学校評議員とも意見交換

するなど積極的に連携するよ

う努めている。

いわゆる悪質かつ深刻ない

じめについては、関係機関に

対応を移管することも状況に

応じて行う方向で考えている。

議員 いわゆる「いじめ」に

対しては、教育委員会及び学



おおしま こういち

議員 人権擁護委員、法務局

との連携についてはどうか。

教育長 法務省の人権擁護機

関が行っている子どもの人権

110番を紹介したリーフレット

等をすべての児童・生徒に配

布している。今後も相談窓口

として国や県が実施している

事業等を周知し、何かあった

際には相談するよう積極的に

働きかけていきたい。

議員 歯科口腔保健の

推進について

議員 歯周疾患検診の受診率

が低率で推移しているが、受



いわゆる「いじめ」問題には引き続き適切な対応を

する際に検診の必要性をお知

らせる文書を同封するなど、

歯周疾患の予防と検診の重要

性を啓発する。また、歯科保

健連絡調整会議等を通して医

師会、保健所等の関係機関等

錦町区画整理（予定）地域内における小改修工事を迅速に

議員 本来、即時に改修工事が必要であるにもかかわらず、今改修したとしても区画整理工事のタイミングで全て壊すことになるため、「二重投資

になってしまつから」という理由で留保され、地域住民が我慢を強いられている案件が多々見受けられるが見解は。

都市整備部長 区画整理事業の進捗状況等も含め総合的に勘案した上で、必要に応じて修繕や改修等を行っている。

今後とも区画整理事業区域内の道路舗装やし字溝に対する苦情や要望等には、適切かつ迅速な対応に努めてまいりたい。

議員 改善要望には迅速に検討してもらえることがわかった。地域の改善要望にはできるだけ耳を傾けてほしい。

蕨市の特定失踪者問題への取り組み強化を

議員 本市に特定失踪者（北朝鮮に拉致された可能性を否定できない失踪者）が2人いる。捜査状況と解決に向けて市は何をやっているか。

健康福祉部長 捜査状況については公開されていない。ポスターの掲示等のほか、県主催の「拉致問題を考える埼玉県民の集い」に関係団体の方々の参加をお願いしている。

議員 自治体レベルでもできることは多々ある。北朝鮮による日本人拉致問題に関する啓発活動の強化、情報提供への懸賞金制度の導入、拉致が



住民が我慢を強いられている
錦町区画整理地域内



ほや たけし

市長が思い描く「蕨市の将来理想像」を問う

議員 市長公約における「にぎわいと活力ある蕨」とは、具体的にどのようなものか。

市長 5・10年後においても今の人口規模を維持しつつ、市民が生き生きと誇りを持つて暮らせる日本一コンパクトな蕨というイメージを持っている。商店街が元気になること、市内企業等を活性化させていくこと、市民活動が非常に活発なまちであること、市外の人、勤労世代、若い世代にも魅力あるまち、住んでいる市民からは誇りの持てるまちということなどが重要だと考えている。

議員 市長の考えは、（具体性に欠けて）よくわからない部分もある。今後、市長との考え方の違いを明確にし、（近隣市との自治体間競争という視点を持って、具体性のあるビジョンとともに）政策を提案していきたい。

あつたか市政を問う

蕨市立病院の災害時の体制並びにその対応について

議員 災害に対しては、常に最悪を想定して事に処す、事前対策を万全に行つ、住民の命を守る、このことは為政者がとらなければならぬ最低条件だと思っている。

大規模災害発生時に際して入院患者、外来患者の安全確保のための事前準備はどうなっているのか。

病院長 市立病院では職員の方の防災意識を高めるために年2回の消防訓練を行っている。異常事態に際しては、パニックになることなく平常心になること。医療人としての常識に従つて行動すること。この2点が肝要であると指導し、常に緊急事態を意識の片隅に置きながら日常の業務に当たるよう職員にお願いしている。

議員 どのように最悪の想定をされていて、それについての改善を考えているのか。

市長 入院患者等の安全確保が避難も含めてどれだけ早くできるのかと同時に、市民を治療する体制がとれるかどうか



市立病院の災害対策充実を求める

か、それをどれだけの間で確保できるかということと、対策マニュアルや訓練等をして対応に当たっている。

また、公共施設の耐震化を進める中で、市立病院の安全性をどう高めていくかというのは大変難しい大きな課題であり、研究検討していく。

教育行政について

議員 教育委員会がこれまで5年にわたり実施してきた事務点検評価は、外部評価を受



おおいし こういち

け、報告書の作成、議会提出公表を行ってきたが、事務点検評価を受けて各事業はどのような総括をしてきたのか。

教育部長 事務点検評価の結果、明確化した課題や意見等について検証を行い、次の事業を実施するまでに可能なものから順次改善等を行っている。今後、点検評価を活かし、各事業の改善及び充実に努めてまいりたい。

消防バイクについて

議員 本市の狭い住宅街において火災、または大規模災害時の初期消火活動に有効と聞いているが、消防本部の見解はどうか。

消防長 バイクを導入している消防本部より幾つかの問題点も報告されている。消防本部としては、道路狭隘地域及び密集地域を火災危険区域と指定し、定期的な調査検討を実施しているため火災等に対応できるものと考えている。

万全な

「いじめ対策」を

議員 いじめの認知件数は。

教育長 平成22年度小学校2件、中学校2件。平成23年度が小学校3件、中学校6件。

議員 認知の定義は。

教育長 全てではないが、本人が訴えてきたもの。

議員 その後のグループからの孤立、家族等に知られたくない等、訴えてこないである程度まで我慢してしまつことも考えられるのではないか。

教育長 そついつくともありうるんだと対応している。

議員 どのような調査を行っているのか。

教育長 1学期のアンケートのほか、2学期には「いじめチェックシート」を配布した。

議員 アンケートの回数を増やせないか。

教育長 各学校の状況を確認したい。

禁煙外来治療に 助成を

議員 喫煙による健康への影響についての認識は。

健康福祉部長 がんや脳卒中、早産などへの影響がある。また、禁煙による健康改善効果も明らかにされている。

議員 喫煙者の多くが未成年のうちから吸い始めているが、蕨の状況は。

健康福祉部長 「健康わらび21」のアンケートでも、喫煙者のうち16歳から19歳で喫煙開始したのが、男性で48%、女性で41%となっている。

議員 教育の現場ではどうか。

教育長 喫煙の報告はあるが、昔に比べて少なくなっている。

議員 たばこに含まれるニコチンには依存性があるが、禁煙外来治療に助成を行う考えはないか。

市長 健康に悪いのははっきりしているので禁煙をすすめていくのは大事。研究したい。

生活保護の医療扶助の 適正な管理を

議員 本市においても生活保護の扶助費のうち、医療扶助費は約4割にものぼる。生活



えのもと かずたか



生活保護医療扶助費の適切な執行を

一般質問

『難病疾患療養費補助金』 について

議員 難病疾患療養費補助金とは、埼玉県指定疾患医療給付制度という県の認定を受けた患者さんが住んでいるまちから、さらに補助金がもらえる制度である。

ある市民の方が数年前に突然難病を患い、本制度の窓口である川口保健所で、蕨市の方は利用できないと言われた。近隣市での実施状況はどうか。

健康福祉部長 川口市では月額3千円、さいたま市では年1回3万円、戸田市では月額4千円の給付を行っている。

議員 難病疾患療養費補助金を導入する考えはないか。

市長 難病の方々が大変苦しい療養生活を送られて、大変ご苦労されていることは想像できる。そつした声にしっかりとこたえていくことは大事だと思つているが、平成25年4月に障害者総合支援法が施行される中で、難病の方々の障害福祉施策に加える基本的な方向が示されているので、中身をよく見きわめて判断した

い。また、恒常的な財源を要するので、検討はきちんとやる必要があると思つている。

生活保護費の不正 受給について

議員 過去3年間の不正受給の件数と金額は幾らか。

健康福祉部長 53件、3千7万6千24円となっている。

議員 急激な申請の増加による事務処理上の人的問題はどのようなか。

健康福祉部長 社会福祉法では80世帯に1人のケースワーカーの配置が示されている。本市では平成24年6月現在、1人当たり118世帯を担当しており、事務処理の増加により、生活実態を把握する家庭訪問が難しい状況にある。

議員 正しい生活保護制度が推進されるよう、人員を増加して迅速な対応を要望する。

各課窓口の対応に ついて

議員 市役所で相談等をする



こばやし りき



ひとつひとつの問題を真摯に丁寧に

際、オープンスペースのため相談内容や会話が漏れ聞こえて、個人情報に漏えいする危険がある。個別に対応できるスペースを設置できないか。

市長 まずは職員の意識・接遇の改善の徹底が必要かと思う。また、限られたスペースの中で、プライバシーが保たれるようなスペースについても、改善の余地がないか努力する大事な点だと思つている。

ほかに 「小児慢性特定疾患手術見舞金」について質問。

前川 やすえ 議員（新生会）

中央公民館にエレベーターの設置を！

議員 2階に受付があり、バリアフリー化されていない中央公民館にエレベーターを設置する考えはないか。

教育部長 今後、施設全般にわたる大規模改修をする際に、財政状況などを勘案しながら検討してまいりたい。

議員 今すぐエレベーターがつけられない状況の中で、例えば、2階に上がれない方が電話をしたら職員がおりてくるような対応はできないのか。

教育部長 市民会館と施設が同じということもあるので、



受付は階段の奥。早速インターホン設置。(中央公民館)

小・中学校に移動系防災行政無線の配備を！！

議員 震災時には携帯が通じず、固定電話もかかりにくくなることから、各学校にも移動系防災行政無線を設置する考えはないか。

市民生活部長 現在保有している31台の移動携帯型無線機の再配備を進め、小・中学校にも配備してまいりたい。

運動会・体育祭の開催時期について



まえかわ やすえ

議員 現在9月に実施されている運動会・体育祭であるが、猛暑が続く、熱中症が心配される。適切な開催時期に再考する準備はあるか。

教育部長 現在のところ変更していく考えはない。

議員 変更した場合のメリット・デメリットはどうか。

教育部長 5月は比較的气候が過ごしやすく熱中症の心配等も減る。しかし、運動会・体育祭は体育の授業で指導してきた内容の発展であり、クラスがえ等を行ったばかりで指導が十分に行われていない5・6月の実施は、集団活動を目立たせる等の目標を達成するには十分な時期とは言えない。また、6月後半は梅雨の時期であること等を総合的に判断すれば、9月のほうがふさわしいとと考えている。

議員 今年度は体育館の工事のため、6月に運動会が行われた小学校がある。今後の参考になるように、保護者にアンケートの実施を要望する。

あつたか市政を問う

山脇 紀子 議員（日本共産党）

「ぷらっとわらび」をさらに利用しやすく

議員 バスを乗り降りする際に段差があるバス停が数カ所あるが乗り降りしやすいように改善してほしい。

市民生活部長 各バス停の状況に応じ、改善策を検討したい。

議員 南町4丁目下蔵通りへのルート改善や西ルートから東ルートへの乗り継ぎの改善、西ルートは時間がかかりすぎる課題など、もう少し利用しやすくしてほしいという声をどのように取り上げ改善していくか。

市民生活部長 ルート変更は民間バス路線との重複をさけたルートとしていたことから慎重に検討する必要がある。西ルートは、錦町区画整理により道路状況が変わりつつあるため、その進捗状況を踏まえ、再編時期や運行ルートについては研究する。

脱原発と自然エネルギーへの転換を

議員 電気料金値上げによる



市民課窓口にあるマナー向上を呼びかけるポスター

ほかに 「学校土曜塾を中学生にも実施できないか」について質問。



やまわき のりこ

公共施設への影響は。衛生センターにおける発電を市へ供給するという取り組みの状況はどうか。

理事 高圧の契約は1kW時あたり平均2円36銭の値上げとなり、公共施設全体の影響額は約1千900万円程度。ごみ焼却により発電する電力のうち休日・夜間電力等の余剰電力をPPS事業者へ売却し、その売却量とほぼ同じ量の電力を当該PPS事業者から蔵市と戸田市が半分ずつ供給を受ける。コスト削減と同時に「電力の地域生産地域消費」を目的とする。現在、導入にむけての条件整備や供給する公共

施設等の検討をしている。

議員 携帯電話からの影響を考慮して市役所市民課窓口での待合場所に「あつたかエリッパ」（高齢者や妊婦、障がいのある方の優先席、携帯電話電源オフ）を設置してほしいが。

市民生活部長 優先席を利用すべき対象者の方々への対応も必要と考え、マナー向上のための注意書きを張る等しての啓発や、お困りの方には職員に声をかけていただき、執務室内の閲覧用の椅子等を利用していたり、できる限りの対応をする。

「ベースメーカーやICD（植込み型除動器）を使用する市民への対応

障がい者施設への補助金を拡充すべき



障がい者の憩いの場となっている地域活動支援センター糸ぐるま

今後は検討する。

議員 相談支援事業委託料は45万4千円で契約しているが、蕨市相談支援事業実施要綱には委託料の基準額が記載されていない。川口市は年額1千万円、戸田市は月額70万9千200円と要綱に明記されている。蕨市も明記するべきだし、委託料は職員2人体制がとれる金額にすべきだ。

健康福祉部長 指摘された点については、今年度の事業所の体制も見ながら検討する。

中学校吹奏楽部の県外大会出場に補助を

議員 二中の吹奏楽部は今年も西関東大会に出場できた。二中は昨年まで4年間続けて西関東大会に出場しているが、楽器運搬費が補助されていないので、県外の大会にも補助するよつに6月議会で改善を求めたが、今年はどうしたか。

教育部長 今年は西関東大会の楽器運搬費を補助した。

議員 9月15日の西関東大会



しむら しげる

で、悲願だった東日本大会青森県で開催への出場が決まり、みんなが喜んでいて。一方、保護者の負担は増えるので、市も補助すべきだ。

教育長 東日本大会についても多額の費用がかかるのは承知している。学校と協議して検討している。努力している。

市の非正規職員の賃金引き上げを

議員 最低賃金の引き上げや同一労働同一賃金を求める運動が強まっており、今年の最低賃金改定で全国平均と埼玉県は12円上がることになった。このことや、蕨市のパート職員の賃金事務職で時給820円が、生活保護級地と同じ県内の5市よりかなり低いことを考慮し、賃金を引き上げるべきだと思つてどうか。

理事 総合的な観点から検討していきたい。

市長 議会の雰囲気は引き上げに皆さん賛成のようなので、その反応も含めて検討したい。

一般質問

町会会館・建設用地がない町会へ前向きな対応を

議員 町会会館がない団体は14町会もあり、希望する町会には会館建設への手助けが必要だと判断している。会館設置に適した用地がない場合はどのように対応しているのか。

市民生活部長 会館を所有していない町会で、会館の建設を希望しているが適当な用地がないという相談は受けていない。今後相談を受けた場合は関係部署とともに対応する。

議員 町会活動の拠点として会館以外でも活用できる援助

を設ける考えはあるか。

市民生活部長 相談があった場合には、公共施設の紹介等も含め調査研究したい。

議員 町会は協働のまちづくりの拠点として大事だと思う。何も相談に来ないからという態度でいいのか非常に疑問があるがどう考えるのか。

市長 会館を希望しても場所がないということは現実にあると思う。限られた状況の中で、工夫をしながら町会活動に取り組んできているのが蕨の歴史ではないかと思う。今後も引き続き、必要に応じて丁寧な相談に乗っていくことが基本だろうと考えている。

議員 町会会館の改修はどのように対応しているのか。

市民生活部長 経費が200万円以上で、条件を満たしているものについて補助対象経費の3分の1以内で200万円を限度に補助を行う制度があるが、過去3年間補助の実績はない。

議員 3年間実績がないというのは利用しづらい要綱だと



ひき こうじ

思う。利用頻度が高まるよう周知していただきたい。

学校保健事業について

議員 児童・生徒で健診結果から指導、再検査等必要な人数、割合はどれほどか。また、その後の対応はどうか。

教育長 24年度の心臓検診は精密検査が必要な人数が8名、要精密検査率0.5%。精密検査の結果を受けて、管理が必要な者は学校行事等において注意を払っている。生活習慣病の予防健診は医学的管理が必要な者の人数が7名、割合は1.5%。生活指導が必要な者の人数が81名、割合は17%。医療受診を勧奨し、養護教諭による健康教育を実施している。

議員 学校保健安全法の改正内容と出席停止の徹底はどう対応するのか。

教育長 予防すべき感染症の種類及び出席停止期間の基準の見直し等であり、通知を出して周知徹底を図っている。

コミュニティバス ぷらっとわらびについて

議員 高齢者の移動や外出などを支援し、健康で充実した生活が送れるまちづくりを進めようと75歳以上の市民を対象に乗車無料化が実施されている。私も平成20年から市に提案していた経緯があり、とてもうれしく思う。手続等の内容はどのようなか。

市民生活部長 無料パスの発行手続は後期高齢者受給者証と写真2枚が必要で、発行時間は10分程度となる。交付した皆様からは大変ありがたい

議員 市民と行政が対等なパートナーとしてまちづくりを進めていくことが必要であるとの認識に立ち、地方分権の時代にふさわしい参画、協働をキーワードにした「蕨市市民参画と協働を推進する条例」の内容はどのようなか。

理事 蕨市の歴史的背景や特性、市民参画・協働の必要性等をあらわした前文と目的や基本原則、市民及び市の責務、市民参画の対象や手続、住民投票、協働の環境づくり等16条の本文からなっている。

議員 住民投票の条文の中にある「市政に係る重要事項」という文言のところが、これはどのような見解か。また、市民参画等の推進委員会を設置してはどうか。

理事 市民生活に重大な影響を及ぼすこと等が住民投票になると考えている。また、第

三者機関である市民参画推進委員会は、他市の事例を見ると、設置されても形骸化している実情もあり、まずは庁内で検証することを考えている。

議員 今後、議会でも意見を提案するので、より良いものをつくるという観点に立ち、ご再考をお願いしたい。

議員 第5次蕨市行政改革大綱にも位置づけられている「わらび地域力発揮プラン」の進捗状況と今後の取り組みはどのようなか。

理事 平成22年8月に策定した本プランの進捗状況は43事業のうち既に実施済みが26、実施を決定しているが3、準備・検討中が14という状況である。今後は協働事業提案制度の創設や市民に対する職員の行動姿勢を宣言する職員宣言の作成等、引き続き各所管課や部会で検討し、その推進に向けて取り組みたい。

「わらび地域力発揮プラン」について



まつもと とおる

あつたか市政を問う

議員派遣報告

第74回 全国都市問題会議

都市の連携と新しい公共

～東日本大震災で見えた『絆』の可能性～

震災からの復興を目指して生まれた市民・自治体間の『絆』を今後どのように発展させていくのか。

10月11・12日の2日間にわたり、全国各地より市長・市議会議員等が参加し、都市の抱える問題について議論する「第74回全国都市問題会議」が、岩手県盛岡市で開催され、「都市の連携と新しい公共」

～東日本大震災で見えた『絆』の可能性～をテーマに活発な議論が展開されました。東日本大震災復興構想会議委員を務めた高成田亨仙台大

学教授の講演では、遠隔自治体との安保条約締結による相互協定の推進と地域主権確立の必要性、中央集権の限界、地域包括ケアに代表される縦割りを超えた政策の有効性等についての提言がありました。

また、谷藤裕明盛岡市長からは震災での各地の被害状況と復興への取り組み、都市間連携による支援と長期的・継続的な支援の重要性等についての報告がなされました。

その他の報告の中でも、巨額の財政支援による弊害、強固な共同体社会から緩やかなネットワーク社会への転換、既存の『絆』と新たな『絆』、『絆』の限界と課題、震災被害の風化への危惧等についての提言や報告がなされました。

また、パネルディスカッションでは、各パネリストがそれぞれの専門的視点から、ボランティアコーディネーター不足やコミュニケーション不足による問題、避難所リーダー・NPO等との連携のあり方、新しい公共と大学の役割、相互応援体制等について議論を展開して議論を深めました。



最後に同会議での議論を踏まえ、「復興の大きな力となっている人々の『絆』を未来へとつないでいくとともに、古くから日本社会にあつた助け合い、支え合いの心を大切に、豊かな社会の創造を目指していく」、「自治体間の連携により、広域災害に効果的かつ円滑に対処していくため、全国的かつ自律的な連携が機能するような社会システムの形成を目指していく」、「被災地の復旧・復興が長期に及ぶことから、今後も被災地に寄り添いながら支援を継続していく」旨の大会宣言が行われ、閉会となりました。

常任委員会 視察報告

総務常任委員会

○日 程

平成24年11月8日～9日

○視察地・調査事項

三重県名張市

「空き家等の適正管理に関する条例
について」

静岡県湖西市

「防災対策について」

○調査報告

名張市では、空き家等が放置され、不良状態になることを防止するために、平成24年4月から条例を施行しています。条例の主な内容は、市民等の情報提供に伴う実態調査を行い、不良状態と認める空き家等の所有者に対して指導又は勧告、命令、公表をすることであり、空き家等に対する適正な管理を進めています。

湖西市では、地震・津波対策のための市民訓練を年4回実施し、1回に2万人弱の市民の方が参加しています。また、多言語版もある防災ガイドブック・防災マップ・命のパスポート等を全戸配布したり、高齢者世帯を対象に家具の固定を3個まで無料で実施するなど、災害対策に力を注いでいます。



環境福祉経済常任委員会

○日 程

平成24年10月31日～11月1日

○視察地・調査事項

青森県三沢市

「三沢市中心市街地活性化基本計画
について」

青森県八戸市

「新うみねこプラン（地球温暖化対策
地方公共団体実行計画）について」

○調査報告

三沢市は、国の「中心市街地の活性化に関する法律(新法)」により、129haの区域を設定して、中心市街地活性化基本計画（平成19年11月～25年3月）を作成し、集客拠点施設として「スカイプラザミサワ」の建設や各種施設の整備を進め、ソフト事業もたくさん実施して、活性化に努力していました。



八戸市は、市内の二酸化炭素排出量を平成19年度を基準にして26年度までに5.2%削減する計画「新うみねこプラン」（平成22～26年度）を策定し、産業対策、民生対策、運輸・交通対策など5部門の対策と二酸化炭素吸収源対策を作成し、各々の削減目標を決めて、きめ細かく対策をとっていました。

教育まちづくり常任委員会

○日 程

平成24年11月6日～7日

○視察地・調査事項

大阪府守口市

「小中学校のICT環境整備事業に
ついて」

兵庫県神戸市

「災害に強い水道づくりについて」

○調査報告

守口市は「確かな学力」の定着を目指して、自ら考え、判断し、表現する力を養うためにICT機器を効果的に活用しています。視察先の橋波小学校では、従来の黒板を使用した授業の中で電子黒板を補助的に活用することにより表現力が養われ、タブレットPCの活用によって学習に対する意欲や、書くことに対する思いが強くなったとのことでした。

神戸市水道局は阪神・淡路大震災で得た教訓と、市民の方々の声をもとに「市民の皆さんに安心してお使いいただける耐震水道」の構築を目指し、「神戸市水道施設耐震化基本計画」を策定し「災害に強い水道づくり」を実施していました。



12月定例会の日程(予定)

11月27日(火)	開 会	11日(火)	一般質問
29日(木)	質 疑	12日(水)	〃
30日(金)	委 員 会	13日(木)	〃
12月3日(月)	〃	17日(月)	閉 会
4日(火)	〃		

傍聴に来てみませんか？

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】4階議会事務局 電話(433)7733(ダイヤルイン)

市議会ホームページを ご利用ください

市議会のしくみや市議会議員の紹介、過去の定例会・臨時会の会議録などが、ホームページでご覧になれます。お気軽にご利用ください。

○ホームページの利用方法

市議会のホームページは、蕨市のホームページ (<http://www.city.warabi.saitama.jp>) とリンクしています。まず、蕨市のホームページをお開きください。次に、蕨市議会をクリックすると、簡単にご利用になれます。

編集後記

師走。今年もあっという間に年末を迎えたように感じるのには筆者だけでしょうか。子どもの頃は一年がもっと長く感じたような気がします。

調べてみるとフランスの心理学者ポール・ジャネーが提唱した「ジャネーの法則」というものがあります。それは「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する」という説です。そのため、年齢を重ねると以前に比べて年月の過ぎるのが早く感じるのだそうです。

月日は子どもには長く、歳を重ねるごとに短く感じるのには「大いなる存在」が人生の实りをより多くするために人間に与えたものではないでしょうか。充実した毎日を送りたいものです。

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

大石 幸一
山脇 紀子
小林 利規
大嶋 公一
榎本 和孝
池上 智康
比企 孝司